

平成29年1月5日

平成29年1月27日に「徳島フォレストサイエンスシンポジウム」を常三島キャンパスけやきホールにて開催します。

■概要

徳島大学は、平成28年11月に徳島県、鳴門教育大学、徳島県建築士会及び徳島森林づくり推進機構と「徳島県林業の成長産業化及び関連産業の振興に関する協定」を締結しました。

この協定では、相互の協力と一層の連携強化の下、それぞれが持つ強みを活かして、次世代の林業を担う人材の育成と、研究開発を進めて新たなイノベーションの創出を目指しています。

このたび、キックオフシンポジウムとして“徳島の林業の成長産業化を考える”と題し、森林資源を巡る最新の研究成果に触れていただくとともに、本県林業が成長産業へと発展するための解決策について、森林林業関係者をはじめ県民の皆様と共に考えるシンポジウムを開催します。

■日時：平成29年1月27日（金）13:30から16:30まで

■場所：徳島大学常三島キャンパス「けやきホール」  
（総合科学部地域連携プラザ2階）

※シンポジウムの詳細については、別添のチラシをご参照ください。

お問い合わせ先

部局名 生物資源産業学部事務課  
責任者 事務課長 松江 重文  
電話番号 088-656-8018  
メールアドレス bb.head@tokushima-u.ac.jp

林業、木材産業、教育・研究機関がフォレストサイエンスゾーンに集結！  
徳島の林業の成長産業化を考える

# 徳島フォレストサイエンスシンポジウム

と き：平成29年1月27日(金)  
午後1時30分～午後4時30分  
ところ：徳島大学総合科学部地域連携プラザ  
けやきホール  
徳島市南常三島町1-1

本シンポジウムは徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」の主催講座に位置づけられています。

主 催：徳島県・国立大学法人徳島大学  
国立大学法人鳴門教育大学  
公益社団法人徳島県建築士会  
公益社団法人徳島森林づくり推進機構



入場無料

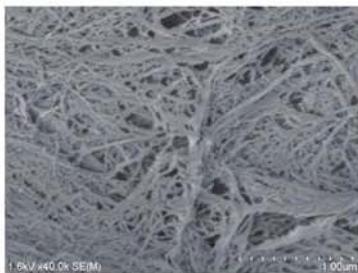
## 第一部 13:30～14:35

### 基調講演Ⅰ「森林資源の高度利活用システムの開発」

徳島大学大学院生物資源産業学研究部

教授 中村 嘉利

低炭素・循環型社会の実現や森林環境保全のために未利用森林バイオマスの高度有効利用法を探ります。今、話題のセルロースナノファイバーなど木材構成成分由来の機能性製品がもたらす木質バイオマス資源の高付加価値化、さらには地球環境問題の解決の糸口も見出します。



爆砕セルロースナノファイバー



### 基調講演Ⅱ「年輪と年縞からひもとく環境文明史」

鳴門教育大学

教授 米延 仁志

樹木の年輪は、過去の環境変動の天然の記録計です。また、年輪の変動パターンを利用して、古建築物や仏像といった文化財の年代を決定することができます。こうした「年輪年代学」の研究成果と、樹木年輪と同様に1年1年の縞をつくる湖沼の堆積物に着目した、高精度な年代測定方法の開発や古環境復元についての研究成果を紹介します。



環境変動等が記録された年輪・年縞



## 第二部 14:45~16:30

### パネルディスカッション

# 「林業・木材産業のイノベーションと人材育成 ～成長産業として発展するために～」

コーディネーター

鳴門教育大学

副学長 尾崎 士郎

パネラー

徳島大学生物資源産業学部

学部長 辻 明彦

公益社団法人 徳島県建築士会

会長 笠井 義文

公益社団法人 徳島森林づくり推進機構

専務理事 阿部 克己

徳島県教育委員会

学校教育課長 後藤 浩代

県立農林水産総合技術支援センター

経営研究課長 網田 克明



県産材の大架構



木造建築学校



高校での伐木講習



県産木材の増産が進む現場

## パネル展示

### 徳島県立農林水産総合技術支援センターの研究成果

- ・ 徳島すぎ心去り平角材の開発
- ・ 耐水性に優れた準不燃木材の製品化
- ・ 徳島すぎの乾燥による樹幹内部別板材の幅寸法変化
- ・ 異なる条件で植栽したスギコンテナ苗について
- ・ 皆伐地におけるニホンジカ誘引捕獲
- ・ 小麦全粒粉を用いた菌床シイタケ栽培
- ・ 屋外簡易施設におけるアラゲキクラゲ菌床栽培



スギコンテナ苗の生産



徳島すぎ乾燥試験



菌床シイタケ栽培



アラゲキクラゲ栽培

徳島すぎ  
心去り平角材

お問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
高度技術支援課

〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井 1660

Tel.088-674-1922 fax.088-674-1003